

「新しい東北」官民連携推進協議会

平成 30 年度 福島県意見交換会（第 3 回） 議事要旨

平成 31 年 1 月 30 日

「新しい東北」官民連携推進協議会事務局

【日 時】平成 31 年 1 月 30 日（水）14:30～16:30

【場 所】復興庁福島復興局 7 階 会議室

【出席者】

<会員>（所属の五十音順、敬称略）

福島県、国立大学法人福島大学、一般社団法人ふくしま連携復興センター、復興庁総合政策班、復興庁福島復興局

<オブザーバー>

公益財団法人福島観光物産交流協会

<ファシリテーター>

エイチタス株式会社

<事務局>

NEC ソリューションイノベータ株式会社

【議事概要】

1. 各団体の取組紹介

各団体が用意した資料に基づいて、各団体の紹介を行った。

2. 意見交換

（1）12 月 2 日に実施したイベントに関する振り返り

ゲストの行ってきたことの生の声が聞けて、濃密な場で良かったという感想が多くあった。その一方で、開催スケジュールやターゲット設定については課題があったという議論がなされた。

ターゲット設定については、県内で活動する地域おこし協力隊の他、「移住者だけでなく、既に福島県で生活されている人々向けにも行ってもよいのではないか」というアイデアもあった。

スケジュールについては、高校生のスケジュールや地域おこし協力隊の年間行事に鑑みて、なるべく他の行事と重ならないよう実施したほうがよいという意見があった。

（2）次年度以降に対する議論

○ターゲット設定について

県内での「身近なヒーロー」と交流できるようなコンセプトで、県内でのキャリアについて憧れの連鎖をつくるためにも、今回同様、高校生や大学生をターゲットにした方がよいという意見があった。また、地域おこし協力隊についてもターゲットにするとよいのではないかという議論がなさ

れた。

その他、本イベントだけでなく、ターゲットが重なる他のイベントと2部構成の形で実施すると良いのではというアイデアもあった。

○今後の展望について

今回のゲストのような県内での「身近なヒーロー」をデータベース化し、人物図鑑や冊子を作成して紹介する、あるいはインターネット上で紹介する流れがあっても面白いという意見があった。

以上